

予算の執行とその概要

平成24年度の国の予算編成においては、東日本大震災からの復興、経済分野のフロンティアの開拓、分厚い中間層の復活、農林漁業の再生、エネルギー・環境政策の再設計の5つの重点分野を中心に、日本再生に全力で取り組むものとし、併せて、地域主権改革を確実に推進するとともに、既存予算の不断の見直しを行うというものでした。

しかしながら、我が国の経済社会は、東日本大震災と原発事故に端を発する深刻なエネルギー制約や、超高齢化社会の到来といった様々な困難に直面しており、また、復興需要や海外経済の状況の改善に伴って、再び景気回復へ向かうことが期待されつつも、欧州政府債務危機を巡る不確実性が依然として高く、世界景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しする危険があるとともに、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然として残るなど厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては引き続き「過疎対策事業（ソフト事業）」の活用を図りながら、地域経済の活性化や雇用対策、市民生活の安定化、将来のまちづくりにおいて成長力を高める施策など継続性、独自性、発展性の観点から必要とされる事業に加え、新たに人口流出の抑制と地域経済活性化を図るための定住促進に向けた取組や産業の振興と地域活性化に向け本市の豊富な森林資源を活用した新エネルギー活用事業などを予算計上しました。

予算の執行にあたりましては、「第5次芦別市総合計画・実施計画の目標と施策の達成」と「芦別市財政健全化計画の推進」により、地域経済の活性化と雇用の確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業（公営住宅建設、道路・河岸整備、森林環境保全整備、学校施設整備）及び福祉・医療・教育の充実など各種施策を推進してまいりました。

これらの結果を踏まえた各会計の決算の状況は、次のとおりとなっています。